

活動組織の名称 ※ふりがなを忘れずに！		かみはちいんのうち みず かんきょうほぜんいんかい 上八院農地・水・環境保全委員会		
所在地		福岡県三潁郡大木町大字上八院地内		
取組開始年度		共同活動	平成19年度	向上活動
協定の対象となる資源				
農用地	地目	田 (a)	畑 (a)	計 (a)
	協定農用地面積	4,321	588	4,909
	対象農用地面積	3,685	588	4,273
農業用施設	開水路 (km)	パイプライン (km)	農道 (km)	ため池 (箇所)
	8.6	11.2	6.7	—
農村環境向上活動 (H23まで)として実施した取組 ・設定したテーマにO印	設定したテーマ	実践活動項目		(取組内容を具体的に)
	①生態系保全	外来種の駆除		・外来種 (行イライボ、クサギ、ミヅヒメアザミ等) の駆除 ・希少植物 (ヒシ) の植栽
	②水質保全			
	③景観形成・生活環境保全	景観形成のための施設への植栽等施設等の定期的な巡回点検・清掃		・堀法面や道路路肩を活用した景観作物 (コスモス、パンジー、ケイトウ、芝桜、ハシロバ等) の植栽 ・堀法面や道路路肩の草刈り、ごみ拾い
	④水田貯留機能増進 ・地下水かん養			
⑤資源循環				
地域の状況	<ul style="list-style-type: none"> 上八院地区は、町の中西部に位置し、米、麦をはじめイナゴ、グリーンアゲハガス、キコなど施設園芸との複合農業の盛んな地域である。 本地区は、従来から農家、非農家が共同で伝統行事や地域活動を行ってきた地域であるが、近年、農家は減少、高齢化してきており、加えて学校や商業施設、私鉄の駅にも近いことから集合住宅が立ち並び、非農家の流入、増加が著しく、地域活動への参加意識が希薄化し、支障を来し始めている。 堀や農道等の維持管理が手薄になってくると同時に雑草繁茂やごみの散乱が目立つようになり、生活環境の悪化が顕在化し始めてきている。 			
活動や取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 上八院地区では、公民館 (地域コミュニティの最上位) をはじめ、行政区、老人クラブ、育成会、女性サークル、農業者団体等地区住民全員での共同作業による住み良い農村づくりを目指している。 地域内の堀や農道、農地等の資源をきめ細かに維持管理していくことはもとより、法面や路肩を活用して積極的にコスモスやパンジー、ケイトウ、芝桜、ハシロバ等を植栽し、花に溢れた景観の形成を図っている。 			
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の生活空間がきれいになり、多くの花が見られるようになったことで、住民の環境に対する意識が高まりつつあり、住民自ら身近なところの清掃や花の植栽が行われるようになってきた。また、共同活動に子供たちの参加の機会を持ったことで、子供たちへの環境学習、体験学習の場となった。 農家の高齢化や後継者の減少など営農上の課題があり、今後、営農組織の法人化を検討する。 魚釣り大会や舟遊びなどを通じ、堀を親しみ、堀を大切にす気持ちを持つような堀環境を築き上げたい。 			
取組を実施するにあたってのキーワード (5つ以内)	「みんなで、住み良い農村 ^{むら} づくり」、「多世代交流」、「ひし再生」、「花いっぱい」、「郷土愛」			
将来の夢・展望	<ul style="list-style-type: none"> 地域ぐるみの共同活動の成果として、蓮の再生を図り、蓮の繁茂する昔ながらの農村風景を取り戻したい。また、花に溢れた美しい田園風景やこの地ならではの「ひし」、農産物を売りに、地域間交流を促進し、地域の活性化、発展に繋げたい。 地域住民が四季折々の風情を楽しみながら、散歩したくなるような健康志向の農村集落づくりができ、更には、この故郷をきれいに子孫に残していきたいとの夢を持っている。 			
県内位置図	主な活動状況の写真			
				
(写真について簡単な説明)	クリーク法面の草刈り	外来種駆除 (イライボ、アザミ) と在来生物 (ひし) の育成	クリーク法面への芝桜の植栽	